

＜発行＞三重県漁業協同組合連合会 指導部

(住所) 三重県津市広明町323-1 (Tel) 059-228-1205

(HP) <http://www.miegyoren.or.jp/> *ネット上で公開しています。『養殖情報ネットワークみえ』のトップページに入力があります。

【海況=6日・栄養塩動向調査結果】

＜水温＞各漁場の水温は11.0～14.4℃、白子港の水温は平年より高め、比重は平年並で推移しています。

＜プランクトン＞現在、植物プランクトンの発生している漁場があります。今後の動向に注意してください。

＜栄養塩類＞桑名地区の一部と鈴鹿以南で少なくなっており、鈴鹿、南勢地区の一部では極端に少なくなっています。

【名古屋港の潮位偏差・毎時偏差速報値(気象庁)】 7日0時～10時現在、潮位図に比べて +4cm～ +15cmで推移しています。

★情報収集、普及活動、試験分析担当

＜桑名～南勢明和＞津農林水産事務所水産室

(tel)059-223-5132

＜南勢伊勢～鳥羽＞伊勢農林水産事務所水産室

(tel)0596-27-5189

＜鳥羽＞鳥羽市水産研究所

(tel)0599-25-3316

＜試験分析等＞

三重県水産研究所鈴鹿水産研究室

(tel)059-386-0163

★本紙の無断転用・複写等は固くお断りします。

【お知らせ】

次回の栄養塩動向調査は1月13日(水)です。***採水は12日(火)** 〆情報の発行は14日(木)の予定です。



この時期の注意点等

伊勢湾全域で珪藻プランクトンが発生しており、桑名以南全域で栄養塩量が少なくなっています。以下の点に留意して海況回復後の生産に備えて下さい。

桑名地区で生産が開始され、伊勢湾のほぼ全域で生産体制に入りました。6日の調査では、伊勢湾全域で珪藻プランクトンが高密度で発生しており(優占種はキトセロ)桑名地区を除く伊勢湾全域で栄養塩量が少なくなっています。年明けから色調が低下が見られますが鈴鹿地区ではやや下げ止まり感もある様子。しばらくまとまった雨が期待できないため、海況の好転は望めないかもしれませんが、過去の例から1月末から2月にかけて寒波の到来とその後の海況安定の可能性ががあります。その場合、伸び足がつくことが期待できますので、現在の網管理をしっかりと行い、次の生産の山に備えてください。

次回の栄養塩動向調査⇒1月13日

第3回共販(1/12) 出品見込数量 2,770万枚(1/7現在)

【三重県のり情報(PDF版)はwebで見ることもできます】

『養殖情報ネットワークみえ』トップページ

<http://osakana-mie.com/>

【栄養塩動向調査が携帯電話で閲覧できます】

http://osakana-mie.com/cgi-bin/mie_gyo/user/phone.cgi

上記アドレスをbookmark登録してご利用ください。

または、右側の二次元バーコードをカメラ付携帯電話で読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。

*機種によっては利用できない場合があります。



★〆情報はweb上で閲覧されることをお奨めします。※PDFファイルをご覧になるには、アドビシステムズ社のAdobe Readerが必要です。